

山下地区

山下地区別計画推進策定委員会

地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

緑区の北側に、恩田川と鶴見川に挟まれた形で東西に長く位置し、地区の北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接しています。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅が並んでいます。

山下地域交流センターや山下みどり台小学校コミュニティハウスが活動の拠点となっています。また、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの福祉施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校

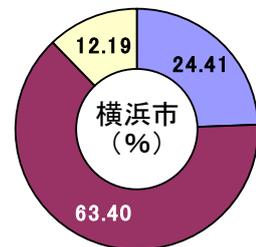
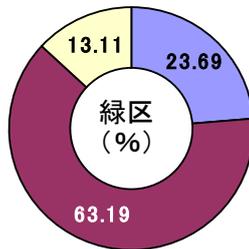
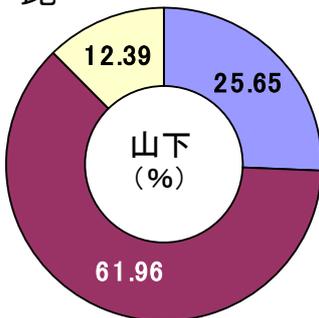
地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、地域包括支援センターふじ寿か園

<年齢区分別人口>

令和元年(2019年)9月末

人口比

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)

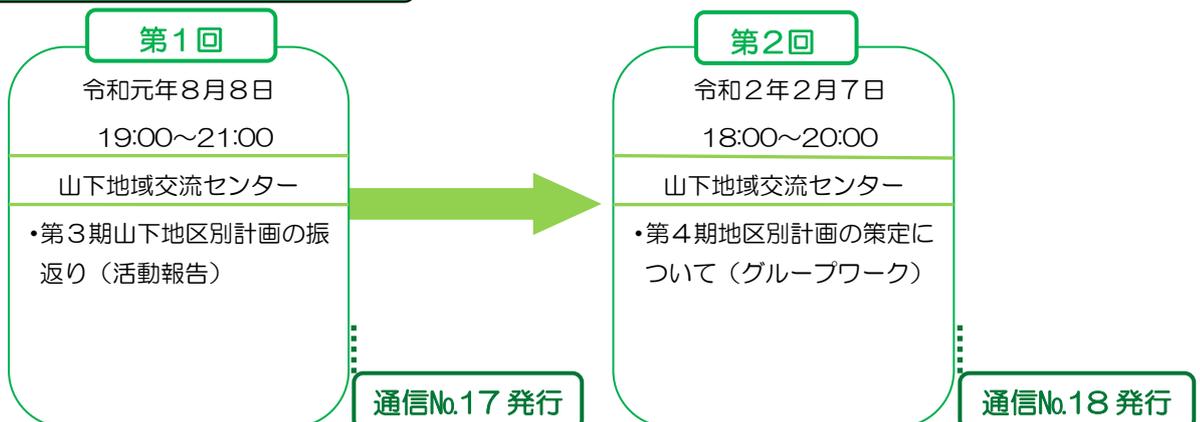


75歳~	2,497人
65~74歳	1,761人
15~64歳	10,285人
6~14歳	1,262人
0~5歳	794人
合計	16,599人

75歳~	22,028人
65~74歳	20,929人
15~64歳	114,577人
6~14歳	14,867人
0~5歳	8,908人
合計	181,309人

75歳~	472,212人
65~74歳	443,935人
15~64歳	2,379,379人
6~14歳	283,586人
0~5歳	173,729人
合計	3,752,841人

地区別計画推進策定委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」令和元年度地区別計画推進状況



山下地区



～ 安全・安心で住みやすい「山下地区」へ～
令和元年度の新しい取組み！

生活支援活動の開始

令和元年から、山下地区では生活支援活動を開始しました！ これは山下地区にお住まいの高齢者世帯、一人暮らしの方、その他支援を必要とする方の「チョットした困り事」に手を差し伸べるささえあい活動です。

「草取り」、「枝切」、「電球交換」、「部屋の掃除片付け」「家具の移動」の5つのメニューがあります。すでに、50件以上の依頼を受け、期待の大きさと必要性を感じています。



山下ボランティアセンターでは、1丁地区の助け合い活動の中心として、一人暮らしの高齢者、障がい者等を支援する活動の中心として活動を行っています。

組織は無料！
 個人情報厳守します。
 山下「チャイボラ」の会より
ボランティアアサイン募集
 都合の付く時間と一緒に活動しませんか？
 地域の助け合いに情心のある方、ぜひボランティアに活動ください！

山下ボランティアセンター
**山下チャイボラの会
 ご利用案内**

ちょっと困ったときは
 お電話ください！

電話番号
 090-8144-0361
 山下ボランティアセンター

ささえあいバスの本格運行

ささえあいバスの本格運行が始まりました！
 このバスは、山下地区内の交通網の充実を進め、高齢者や子育て世代の移動手段を提供することを目的に、2年4カ月の実証運行を経て平成31年4月から本格運行となりました。

現在、会員数は220名を超え、少しずつささえあいバスの認知度が増えています。実証運行時からの山下地域交流センターを中心とした交流センター便と近隣のスーパーへ行く買物便を定時定路線運行しています。また利用者の要望により運行するグループ便なども取り入れていくことで、地域の活動にも参加しやすくし、利便性を高めていきます。



山下地区 地区別計画推進策定委員会



山下地区別計画推進策定委員会
令和元年9月発行 第3期No.7 (通算No.17)

山下地区別計画推進策定委員会通信



地域で温かくささえあう安全・安心な「山下地区」へ

例年になく長かった梅雨が明け、厳しい暑さがやってきた令和元年8月8日(木)、令和元年度の第1回「山下地区別計画推進策定委員会」を開催しました。

まず、第3期「みどりのわ・ささえ愛プラン」山下地区別計画における、平成30年度の取組と第3期山下地区別計画の振り返りを行ったのち、令和元年度の取組の報告をしました。



▲第1回委員会の様子

★ 令和元年度の取組 ★

1 ささえあいバスの本格運用



交通網の充実を進め、高齢者や子育て世代の移動手段を提供することを目的に、平成28年12月から実証運行が続けられてきました。実証運行の実績、会員へのアンケート結果を踏まえ**本年4月からは、本格運行へと移行しました。**

現在、会員数は194名となり、毎月利用者数が増えてきています！今後、定時定路線運行の他、利用者の要望により運行するグループ便なども取り入れさらに利便性を高めていきます。

2 生活支援ボランティア活動



支援を必要とする利用者をボランティア活動で支え、「ささえあい」による明るい生き甲斐のあるまちづくりに取組んでいきます。この事業の推進と支援を行う「山下地区生活支援事業推進委員会」、要援護者の依頼をボランティアにつなぐ「山下ボランティアセンター」、実際にボランティア活動を行う「山下チョイボラの会」で構成されています。

試行期間として、7月からスタートし、来年1月からの本格実施を目指しています。

利用メニューは ①草取り ②枝切 ③電球交換 ④部屋の掃除片付け ⑤家具移動 です。

【令和元年度 山下地区別計画推進委員 令和元年8月8日現在】(50音順 敬称略)

安部智恵、荒谷孝道、井上和子、小熊富美、落合秀行、小嶋賢治、小柳新一、口櫻井憲一、○篠崎 慧、
澁井まどか、菅沼繁晴、鈴木哲生、田中大成、谷井春夫、口中野達也、仲原富士夫、中村逸子、中村忠治、
成島昭吾、濱野健次、平山千恵子、福島信秀、堀内倭文子、宮田文夫、口村田忠義(○印：委員長、□印：新任)

★ 第3期地区別計画の中間振り返り（平成28年度～30年度の取組） ★

次に、山下地区で掲げている「みどりのわ・ささえ愛プラン」地区別計画の3つの目標に沿って、各自治会や団体等からの取組発表の一部をご紹介します。

目標1 地域での「つながり」を大切に、健康で元気に暮らし続けられるまちづくり

- ・スポーツ推進委員会会長（落合委員）
平成30年の体育祭では、子育てが終了した中高年世代向けに「みんなでメデシン」を企画し、とても好評でした。もっと、子ども会の加入率を増やしていきたい。
- ・民生・児童委員協議会会長（澁井委員）
区から提供されるひとり暮らし高齢者の名簿をもとに、見守り活動を行ってきました。自治会が進めている要援護者の把握にも務めており、自治会との連携を図っています。
- ・保健活動推進委員会会長（小林氏）・副会長（井上委員）
元気づくりステーションや健康教室、赤ちゃんサロンへの参加を呼びかけたいです。様々な取組の中で参加者同士のつながりが広がり、さらに世代間の交流が活発になると思います。

目標2 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

- ・広報部長（安部委員）
「連合だより」を年4回発行しています。編集会議を設けてテーマを設定しているほか、イベント情報や山下人物風土記を盛り込み、地区内の自治会の動き等を伝えています。
- ・北八朔自治会（菅沼委員）
地区社協の昼食会の参加者が増えており、部屋に入りきらない時もあるほどです。このような場を通じて、自治会・各種団体等の情報を地域全体で共有していければと思います。

目標3 「防災・防犯」で安心・安全なまちづくり

- ・小山町自治会（篠崎委員長）
「防災ささえあいカード」に基づき、要援護者と支援者を見える化したマップを作成し、消防団や自治会役員などと共有しています。これからは、地域住民で支援していく仕組みづくりが重要だと考えています。
- ・青少年指導委員会会長（仲原委員）
年1回の7月にパトロールを実施しており、ボランティア6人で公園、小学校、中学校、幼稚園を見回りました。時には公園に集まっていた中学生に注意を促すこともありました。
- ・パークシティ横浜中山自治会（中野委員）
自治会として、防犯カメラの積極的な活用に取り組んでいます。

3つの目標にそって、さまざまな取組を行ってきました。
今回の振り返りをもとに、第4期山下地区別計画の策定を行っていきます！



<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2260（緑区税務課内）



山下地区別計画推進策定委員会
令和2年3月発行 第3期No.8 (通算No.18)

山下地区別計画推進策定委員会通信

前進します！ 第4期計画の「山下地区別計画」へ

令和2年2月7日（金）、令和元年度の第2回「みどりのわ・ささえ愛プラン 山下地区別計画推進策定委員会」を開催しました。前回の委員会で、第3期山下地区別計画の振り返りを行いました。



当日は令和3年から始まる第4期山下地区別計画の策定に向けて、こういった取り組みが必要か活発な意見交換を行いました。



内容を一部ご紹介いたします！

▲ 当日の委員会の様子

【第4期みどりのわ・ささえ愛プランの方向性】

- 多分野横断的な視点で計画を推進
- 地区別に目指す姿を設定し、住民の方々にわかりやすい表現に工夫していく

第4期「みどりのわ・ささえ愛プラン」山下地区別計画の策定について



山下地区には、ソフト面から取り組む「みどりのわ・ささえ愛プラン」とハード面から取り組む「山下地区安全・安心まちづくりプラン」の2つのプランがあります。

みどりのわ・ささえ愛プラン山下地区別計画では、「地域のつながりや支え合いのある誰もが元気で暮らし続けられる街」を目指して、三つの視点「支え合い」「つながり」「情報共有化」から活動を進め、安全安心まちづくりプランと連動させ、一体的に推進をしていきます。

【山下地区 地区別計画推進策定委員】

推進策定委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、地域防災拠点運営委員会などから構成されています。

★ 第4期山下地区別計画の柱となる、3つのテーマに分かれて
グループワークを行いました ★

Aグループ テーマ：支え合い

- それぞれの活動の中で、あるいは隣近所で見守りを行っている
- 困っているときの相談先を伝える等、適切に情報提供できるようにすることが支え合い
- 何かあったら助けるのではなく、日頃から支え合うことが重要
- 地域の行事の間口を広げたら、これまで参加しない方が参加するようになった

Bグループ テーマ：つながり

- 地域では、体操、サロン、食事会等、色々な活動を行っているが、年々参加者が減少している
- 地域の活動団体が集まり、情報交換をする場がない。「地域活動の参加者を、どのように増やしていくか」等、テーマを決めて議論してもいいのではないかな？
- 活動を行っている担い手の縦、横のつながり作り、相談できるようにしていくことも必要

Cグループ テーマ：情報の共有化

- 若い世帯は、メール、LINE で共有することが多い。一方高齢者は、パソコンを使わない人が多く、回覧板や掲示板のチラシで情報を得ている。電子媒体と紙媒体の両方の情報発信が必要
- 高齢者向けに、スマートフォンの使い方を教えてくれる教室があるといい
- 人が良く集まるような場所（ささえあいバス、交流センター、近隣のクリニック等）に、目につくように、地域活動のチラシなどの配架をしていく

最後に、篠崎委員長より

「第三期計画までに議論してきたテーマもありますが、すぐには解決できないテーマでもあり、第4期計画の策定に向けて、いろいろな視点から議論を続け、少しでも『やって良かった』と言えるやり方を考えていく必要があります。今日の議論を参考に、第4期計画を作っていきたい」とお話がありました。



▲ 篠崎委員長



策定委員会事務局としては、山下地区のソフト面の課題に取り組む第4期山下地区別計画の策定を、今日の委員会での議論をもとに、地域の皆さんが身近に感じる計画となるように進めていきます！

<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2260（緑区税務課内）